

消毒用アルコールの安全な取扱い等について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、手指の消毒等のため、消毒用アルコールを使用する機会が増えています。

消毒用アルコールは火気により引火しやすく、また、発生する可燃性蒸気は空気より重く、低所に滞留しやすいため、取扱う場合には十分にご注意ください。

<消毒用アルコールの安全な取扱い方法>

- ① 消毒用アルコールの使用に際して、火気の近くでは使用しないようにしましょう。
- ② 室内の消毒や消毒用アルコールの容器詰替え等に伴い、可燃性蒸気が滞留するおそれのある場合には、通風性のよい場所や換気が行われている場所等で行いましょう。また、みだりに可燃性蒸気を発生させないため、密閉した室内で多量の消毒用アルコールの噴霧は避けましょう。
- ③ 消毒用のアルコールの容器を設置・保管する場合は、直射日光が当たる場所や高温となる場所を避けましょう。また、消毒用アルコールの容器を落下させたり、衝撃を与えたりする等しないようにしましょう。
- ④ 消毒用アルコールを容器に詰め替える場合は、漏れ、あふれ又は飛散しないよう注意するとともに、詰め替えた容器に消毒用アルコールである旨や「火気厳禁」などの注意事項を記載してください。

※ リーフレット「消毒用アルコールの安全な取扱いについて」別紙参照してください。

消毒用アルコールの安全な取扱いについて

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、手指の消毒等のため、消毒用アルコールを使用する機会が増えていますが、一般に消毒用アルコールの物性として、次の特徴があります。

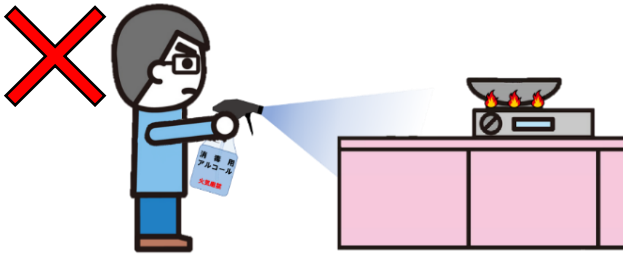
アルコールの火災予防上の特徴

- 火気に近づけると引火しやすい。
- アルコールから発生する可燃性蒸気は、空気より重く、低いところにたまりやすい。

このため、ご家庭や事業所などにおいて、消毒用アルコールを使用する場合、下記に示す火災予防上の一般的な注意事項に十分注意の上、安全に取り扱ってください。

⚠ 火災予防上の一般的な注意事項 ⚠

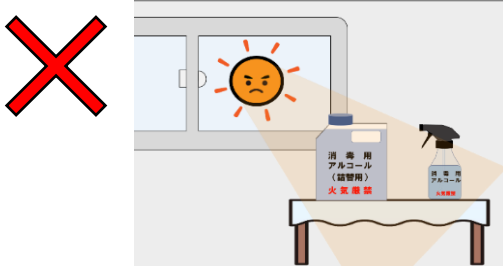
- ☆ 消毒用アルコールを使用するときは、火気の近くで使用しないようにしましょう。



- ☆ 消毒用アルコールを容器に詰め替える場合は、漏れ、あふれ又は飛散しないよう注意しましょう。また、詰め替えた容器に“消毒用アルコール”や“火気厳禁”などの注意事項を記載してください。



- ☆ 消毒用アルコールの容器を設置・保管する場所は、直射日光が当たる場所や高温となる場所は避けましょう。



- ☆ 消毒用アルコールの容器を落下させたり、衝撃を与えることのないように気をつけてください。



- ☆ 室内の消毒や消毒用アルコールの容器詰め替えなどにより、アルコールの可燃性蒸気が滞留するおそれがある場合には、通気性の良い場所や換気が行われている場所で行いましょう。また、密閉した室内で多量の消毒用アルコールの噴霧を行うことはさげましょう。

